

人権だより

No.308(2023.12)

今年ことしの夏なつと秋あきの思い出おもいで。

保健環境部長 岩本 伸治

今年ことしの夏なつ。愛媛県美術館えひめけんびじゆつかんで開催かいさいされた「石村嘉成展いしむらよしなりてん いきものだいすき」は、来場者数らいじょうしゃすう5万人まんにんを達成たっせいし、県美術館けんびじゆつかんで開催かいさいされた郷土作家美術展きょうどさかびじゆつてんの最多来場者数さいたらいじょうしゃすうを大幅おおはばに更新こうしんしたということです。本校生徒ほんこうせいとの中なかにも、家族かぞくで観みに行ったいという人ひとも多いかと思おもいます。たくさんたくさんの動物どうぶつを色鮮いろあざやかな色彩しきさいで生き生きいと表現ひょうげんした彼の作品かれ さくひんに多くおほの人が魅了ひと みりょうされました。その石村さんいしむらは、2歳さいで自閉症じへいしょうと診断しんだんされましたが、高校こうこうの時ときに出会であった版画はんがによりその才能さいのうを開花かいがさせ、今いまに至いたります。観みる人ひとの心こころを温あたかくさせてくれる作品さくひん。そこには障がいしょうがいの有無うむかんけい関係かなく、ただ彼の産み出す作品かれ うだ さくひんが素晴すばらしいということ。差別さべつや偏見へんけんのない世の中よのなかとは、こういうところから広ひろがっていくということが垣間見えた今年ことしの夏なつでした。



今年ことしの秋あき。とうとう 10年ねんをかけて「進撃の巨人しんげき きょじん」のアニメが最終回さいしゅうかいを迎えましました。この漫画まんが (アニメ) は民族間みんぞくかんの争あらそいが根底こんていにあり、ラストは主人公しゅじんこうのエレン・イェーガーが自らラスボスとして「地鳴らしじな」を発動はつどうさせ、全人類ぜんじんるいの敵てきになって、争あらそいに終止符しゅうしふをうつという複雑ふくざつなストーリーでした。この漫画まんがは、登場人物とうじょうじんぶつの誰だれもが自分の正義せいぎのもとに行動こうどうしていくことで、その正義同士のぶつかり合いせいぎどうしがテーマでもありました。

時ときを同じくして現実世界げんじつせかいで起こったのが、パレスチナのイスラム組織そしきハマスによるイスラエルへの大規模攻撃だいきぼこうげきと、イスラエルによるガザ地区ちくへの報復攻撃ほうふくこうげきです。この両国りょうこくの歴史れきしや争あらそいもまた複雑ふくざつで、「世界せかいで最も解決もつとが難しい紛争かいけつ」とも呼ばれているそうです。進撃の巨人しんげきを見終わみ おったとき、ふと、現実世界げんじつせかいで起こる非常事態ひじょうじたいに心こころを痛めずにはいられませんでした。そして、それぞれの正義せいぎのもと、差別さべつや偏見へんけんや争あらそいはいとも簡単かんたんに生じるものだということが垣間見えた今年ことしの秋あきでした。

世界中せかいじゅうの人々ひとびとが石村嘉成展いしむらよしなりてんの観覧者かんらんしゃみたいな心こころの持ち主もぬしであったなら、平和な世の中へいわのよになっっているだろうと思おもいます。しかし現実げんじつに、悲惨な戦争ひさんせんそうは続つづいています。そんな終わりの無い争あらそいの世界せかいは、恐ろしい「地鳴らしじな」でしか変えることはできないのかも、とあなたは考えますか？私わたくしは巨人きょじんに踏みつぶされるのはいやだなあ…。そんな世界せかいにならない

ために、^{わたし}私たち一人一人にできることは？と、これからの^{せかい}世界を創るあなたに^と問いかけてみます。

【保護者の声】 文章を読んだPTA 人権委員の方の感想です。

^{じぶん}自分の心の中にある^な差別や^{へんけん}偏見に^{きづ}気付くことができるのか、^{まいにち}毎日の生活の中で^な振り返りながら、^{じぶん}自分を見つめ^な直す^{じかん}時間を持ちながら^{せいかつ}生活をしていければ^い良いと^{おも}思います。
^{じぶん}自分の心の中にある^{ちい}小さな^な差別や^{へんけん}偏見に^{きづ}気付ける自分であるべきだと思っ^{おも}ています。

(4年生保護者)

【人権委員の声】

障がいがあるから差別をしたらだめだというのは人権だよりも書かれていたけど、戦争のことについて、今、世界で何が起きているのか知ることができてよかったです。世界の人々が優しい心を持ったら平和になるので、人々が犠牲にならないために、これからも平和のことについて考えていきたいです。(1年生 人権委員)

私は石村嘉成さんについて新聞の記事で読みました。いつも白黒な新聞が、その日は色鮮やかだったのを覚えています。自閉症というハンデを抱えながらも、ひたむきに頑張る姿勢は素晴らしいと思いました。私も、展覧会の観覧者のような優しい心を持ちたいです。(2年生 人権委員)

美術作品は、作った人の経験や考え方などいろいろなものが詰め込まれていて、見た人に様々なことを感じさせる素晴らしいものであり、障がいの有無や年齢、国籍関係なく楽しむことができるのは、すごくいいことだと思いました。戦争などの争いごとはいろいろなことが原因となって引き起こされ、お互いが納得できるようになるまでは終わらないものだと思いますが、世界全体が平和になり、すべての人が日常生活を楽しく過ごせるような世の中になればいいなと思います。(4年生 人権委員)

今起きているイスラエルとパレスチナの紛争は、ニュースなどの報道から、激しいものだという事は理解していたつもりだったけれど、「世界で最も解決が難しい紛争」と言われていることは知りませんでした。そのような紛争が起こらないようにするためにも、私たちは争いを力で解決するのではなく、お互いに話し合うことを意識し、相手のことをよく知ろうとする姿勢が大切だと思います。(5年生 人権委員)

自分の正義を貫くということは、言い換えると周りの人の正義を犠牲にするということにもなると思いました。一歩引いたところに視点を置いて、周りの意見を尊重する必要があると思います。いろいろな経験をして、自分の正義ももっといいものに変えていけたらいいなと思います。(6年生 人権委員)